

EDINET の再構築に伴うパイロット・プログラムの実施案内

金融庁では、「有価証券報告書等に関する業務の業務・システム最適化計画」(※1)に基づき、XBRL (※2)の導入等による開示書類利用者の利便性の向上等を目的とした EDINET の再構築を行っており、2008 年4月より新システムを稼動し、XBRL 形式による提出へ移行することを計画しております。

当再構築の一環として、2007 年4月3日付で、金融庁よりパイロット・プログラムを同年7月から8月にかけて実施することが発表されております(※3)。

これは、2008 年4月より予定されている新システムへの円滑な移行及び XBRL 導入に向けた提出環境の整備等を目的とし、有報等の提出会社全社を対象に参加を募るものです。また、2007 年4月27日付で当パイロット・プログラムに係る説明会の申込受付が開始されております(※4)。

今般の EDINET への XBRL 導入により、開示情報の高度な利用が可能となることが期待されております。また、上場会社につきましては、EDINET における提出書類作成業務について、次のような変更が生じることとされております。

- ・金融庁より開発・提供された標準的な勘定科目リストを利用して財務諸表を作成することとなる。また、財務諸表の様式が変更となることも見込まれている。
- ・提出書類のデータ形式が変更となり、各上場会社において、XBRL に対応した提出書類の作成環境が必要となる。

上場会社の皆様におかれましては、XBRL による財務諸表作成業務に習熟していただくため、当パイロット・プログラム並びに説明会にご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※ 1 (http://www.fsa.go.jp/common/about/gj-suisin/20060421/03_0.pdf)

※ 2 (<http://www.tse.or.jp/rules/td/xbrl/about.html>)

※ 3 (<http://www.fsa.go.jp/singi/edinet/20070403.html>)

※ 4 (<http://www.fsa.go.jp/singi/edinet/20070427.html>)

本件に関するお問合せ

金融庁 Tel:03-3506-6000 (代表)

総務企画局 企業開示課

(内線 3666、2762、2763)